

1. 第1回懇談会での意見について

(1) 第1回懇談会での意見

意見に対する対応

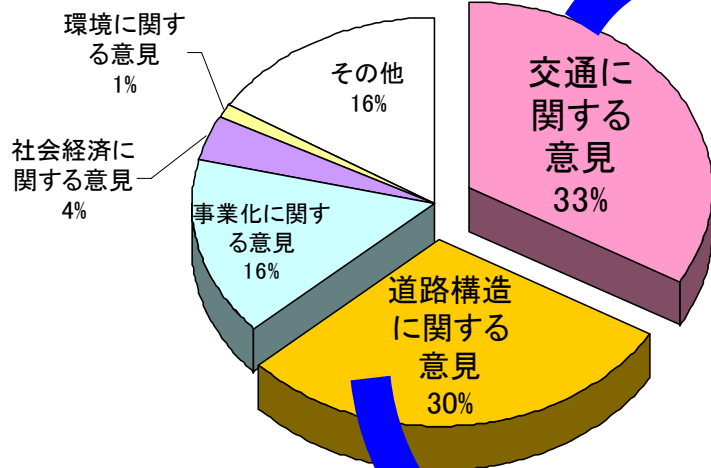
第1回懇談会での意見	対応
既存道路改良と 豊岡道路整備の整理	豊岡地域の交通課題と 豊岡道路の必要性
地域の活性化とコウノトリ	コウノトリと共生する 道路整備の考え方
福田・栃江の水田は コウノトリのえさ場	
豊岡道路のコントロール ポイントと配慮事項	豊岡道路のコントロール ポイントと道路検討範囲
※豊岡道路の広域ネットワークでの機能役割確保のため、将来、鳥取豊岡宮津 自動車道が計画された場合にJCT接続可能な案とする。	

(2) 豊岡地域の交通課題と 豊岡道路の必要性

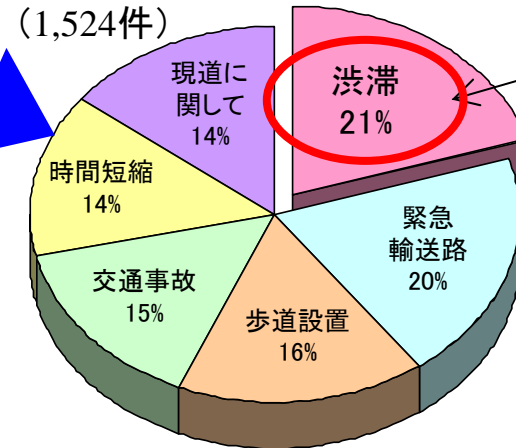
但馬の道路に関する市民の意見

・豊岡市内の渋滞が激しいことや、道路が狭いことに対して特に市民の意見が強い

◆但馬地域の道路について日頃感じていること



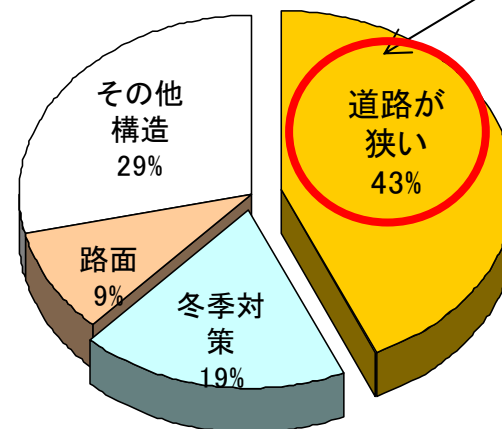
○交通に関する意見の内訳 (1,524件)



【主な意見】

- ・海水浴シーズンや、かにシーズンは、交通渋滞がひどい。
- ・豊岡市街に入る道路の混雑をなんとかしてほしい。

○道路構造に関する意見の内訳 (1,372件)



【主な意見】

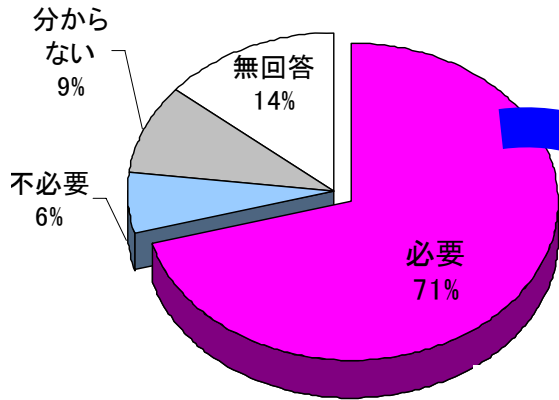
- ・道路幅が狭いため、右折や左折等、事故をしないように気をつけている。
- ・主要道路にもかかわらず、道幅の狭い道路や部分的に狭いところがあって危険。

出典：豊岡道路アンケート

豊岡道路の整備の必要性

・地域の活性化や道路網の接続・連絡、時間短縮のため、「豊岡道路」の整備に**7割の方が必要性**を感じている。

◆「豊岡道路」整備の必要性



【主な意見】
・23号台風の時に、各所に交通止があったので、幹線道路はしっかりしたものがあれば良い。

【主な意見】
・京阪神が近くなると若い人は、豊岡も悪くないと思えるようになる(永住)。
・地域の活性化のため、交通の便は生活、住居、文化活動につながる根幹である。

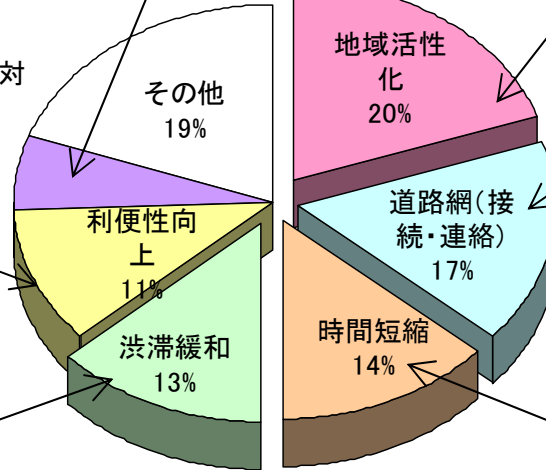
【主な意見】
・連絡がスムーズにいくために整備が必要。
・阪神間それぞれの生活圏を結ぶ幹線道路として重要。
・豊岡市街地や観光の主力である城崎温泉へのアクセスを大切にすべき。

【主な意見】
・阪神間へ短時間で行くことは何をおいても必要。
・関西方面への移動時間の短縮。

【主な意見】
・利便性が悪いと都会と田舎の格差が生まれ、病院の医師不足などによる悪循環を招く。

【主な意見】
・旧豊岡市内の渋滞を避けるため(必要)。
・市内が渋滞すると逃げ道が欲しい。

災害時対応 6%

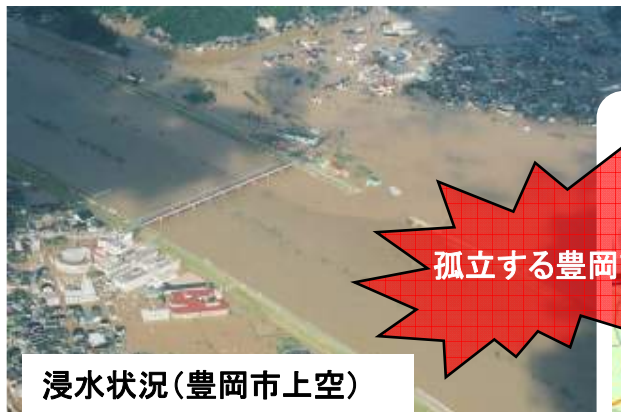


◆豊岡道路が「必要」と思う理由 (自由回答)

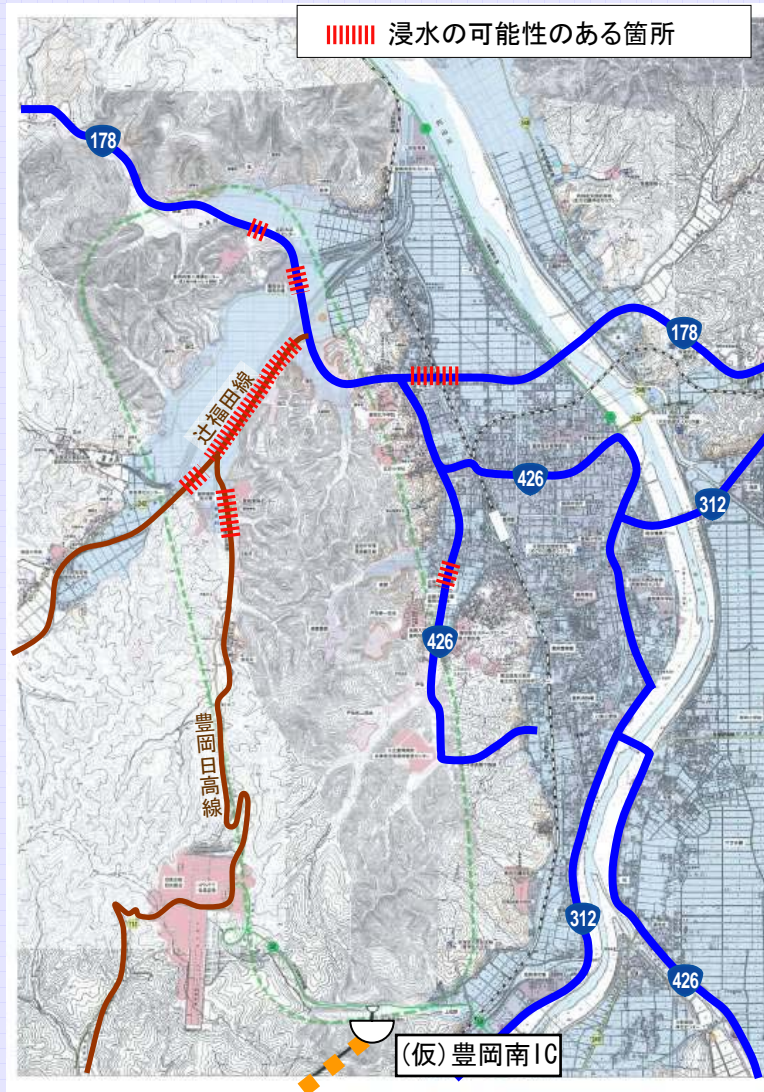
豊岡市内の交通課題と豊岡道路の必要性

～災害～

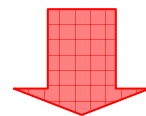
・平成16年の台風23号では、但馬地域は大きな被害を受け、**円山川周辺では道路が水につきり通行できなくなった**。このため、救援物資などの輸送や救急救援活動に困難を強いられた。



- ・豊岡市内においても国道や県道に浸水の可能性のある箇所が存在



豊岡市内への浸水時の緊急
輸送道路の確保が必要

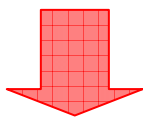


緊急輸送道路となる道路については水
害に浸からない道路整備が求められる



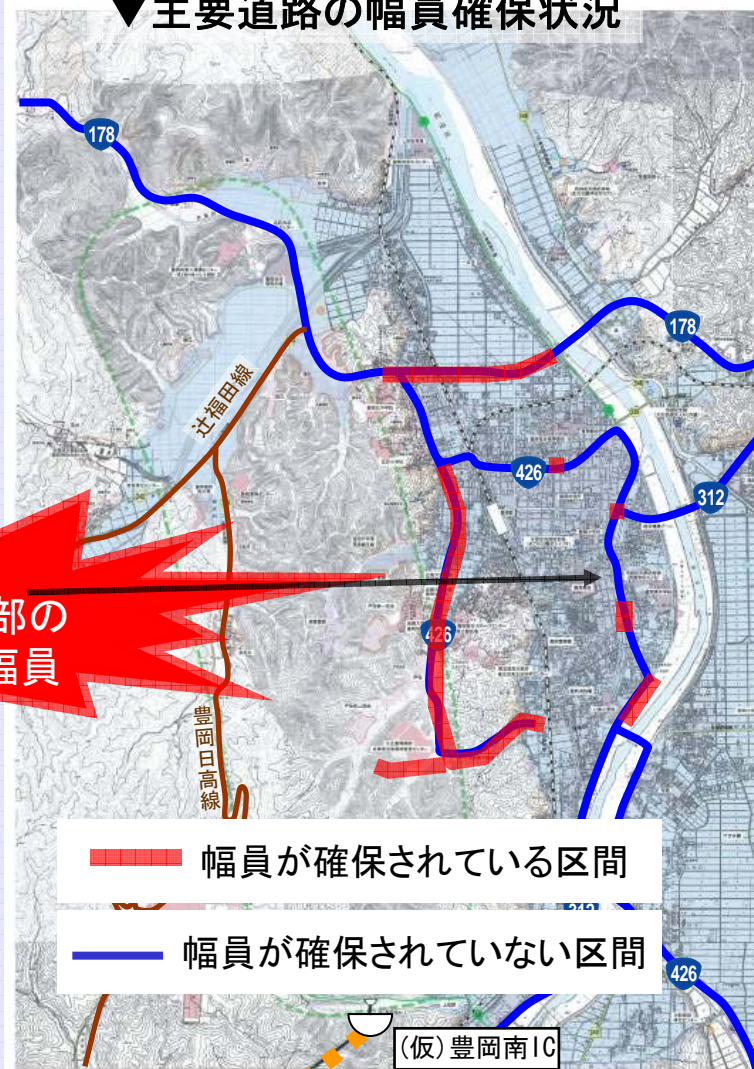
平成16年台風23号の
円山川氾濫時の豊岡市内

- ・豊岡市内の国道312号及び426号は**冬季積雪時に十分な幅員が確保できない箇所が多い**
- ・**歩行者・自転車が車道を走行せざるを得ない**場面があるなど、交通安全上問題がある



冬季の円滑な交通の確保が必要

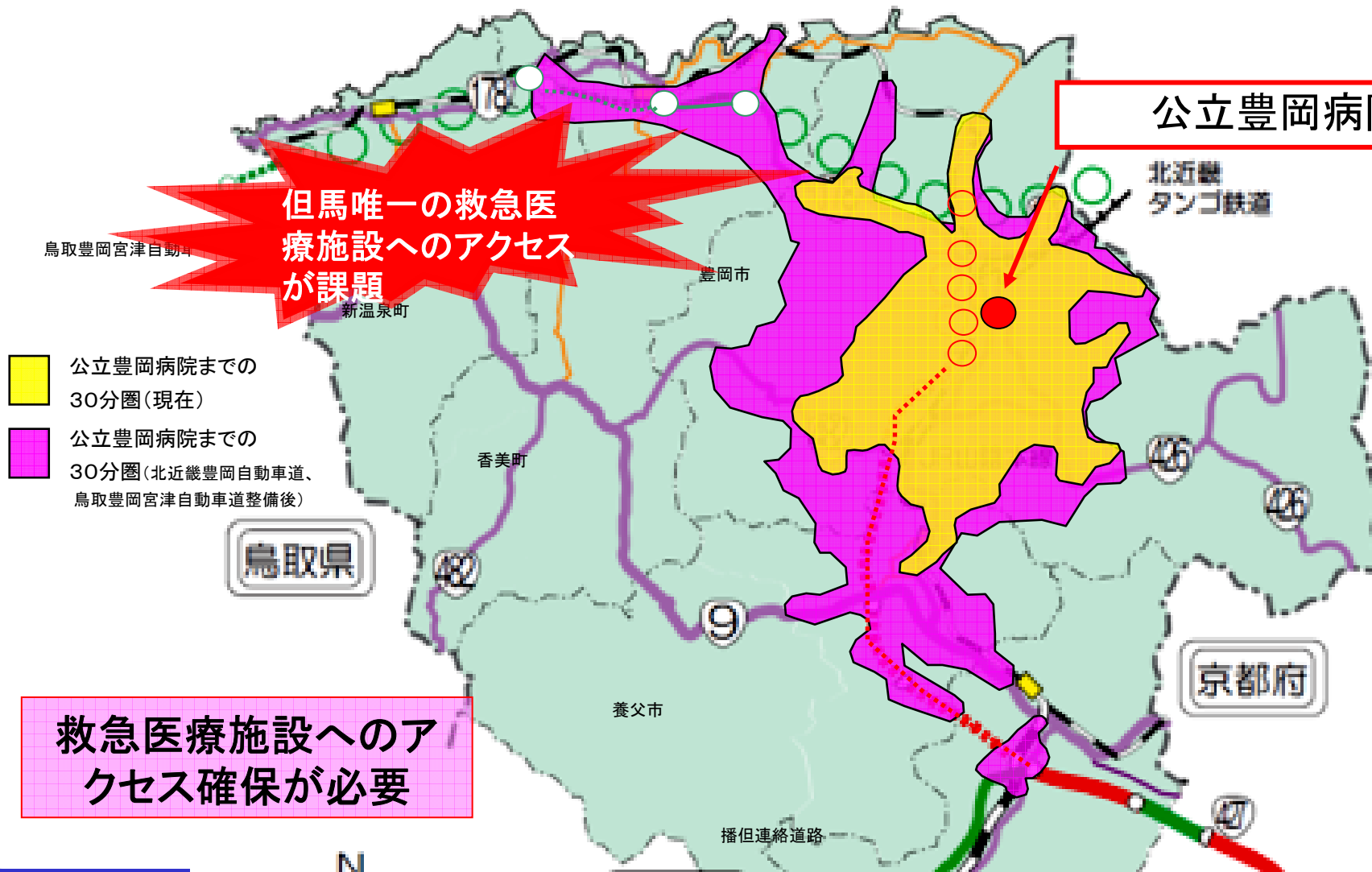
▼主要道路の幅員確保状況



豊岡市内中心部の国道で狭小な幅員

・但馬地域唯一の第3次救急医療施設である公立豊岡病院から30分以内に到達できるエリアは限られている→**道路整備の遅れにより但馬地域住民の生活が脅かされている**

◆第3次救急医療施設(豊岡病院)までの30分到達圏



豊岡市内の交通課題と豊岡道路の必要性

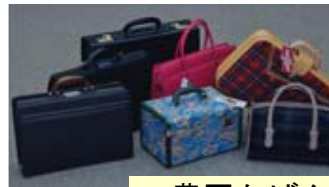
～観光・地場産業～

・但馬地域の大部分はインターチェンジからの30分アクセス圏外で、**高速道路へのアクセス性が不十分**であり、企業誘致や観光客誘致の障害

▼高速道路インターからの到達時間図



時間短縮による京阪神都市圏との連携強化が必要



豊岡かばん



ズワイガニ



城崎温泉

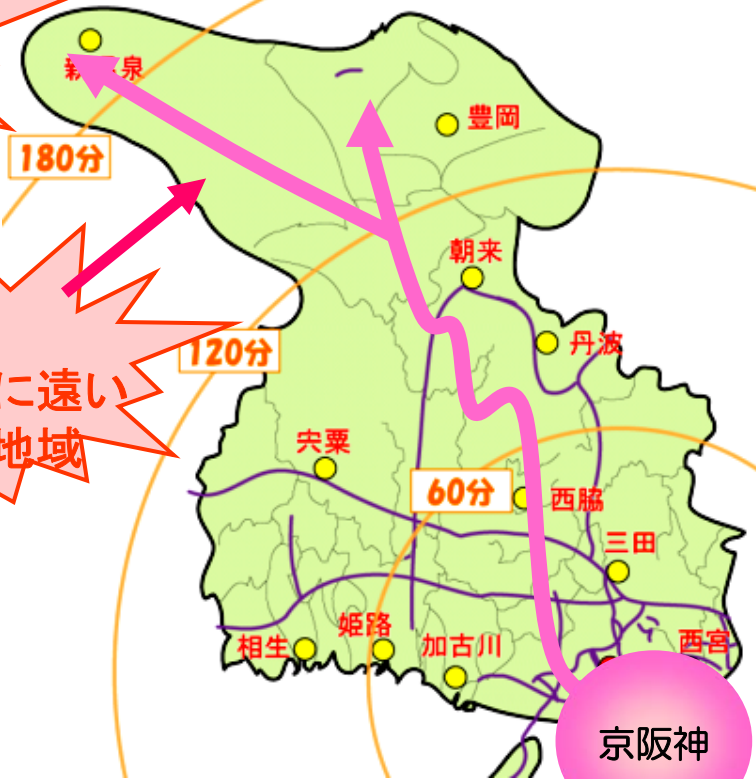


神鍋高原

▼兵庫県庁からの時間距離地図

但馬地域のみ
高速道路が
未整備

時間的に遠い
但馬地域



(平成19年末時点)

京阪神

豊岡市内の交通課題と豊岡道路の必要性

～渋滞～

現在、豊岡市内では、ピーク時最大1.7kmもの渋滞が観測されるなど、**平日朝及び休日夕方**の交通渋滞が顕著である。



▲ 豊岡市城南町



▲ 豊岡市塩津町



▲ 豊岡市九日市下町

▼ 休日の渋滞状況(夕方16時台)

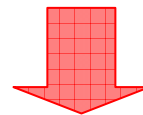


平成19年2月11日(祝)調査

▼ 平日の渋滞状況(朝8時台)



平成19年6月12日・19日(火)調査



豊岡市内の渋滞緩和による交通の円滑化が必要

豊岡市内の交通課題と豊岡道路の必要性

～交通状況～

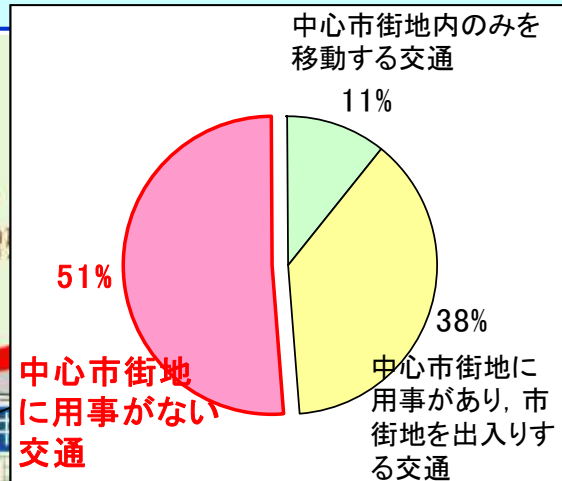
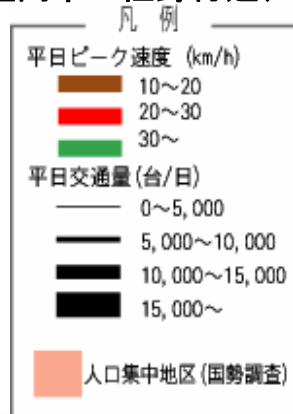
- ・豊岡市内は国道312号の市街地に大部分の交通が集中しており、交通量は約2万台前後(平日)
- ・ピーク時の平均走行速度は20km/h台と低い



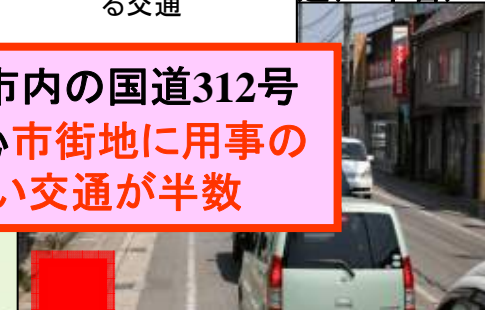
▲豊岡市蓼川大橋付近(22千台)



▲豊岡市上佐野付近(22千台)



▲豊岡市塩津町付近(10千台)



▲豊岡市塩津町付近(17千台)

豊岡市内の国道312号は中心市街地に用事のない交通が半数

ピーク時の交通混雑の大きな要因となる

図 豊岡市周辺の交通量(線の太さ) ピーク時平均走行速度(線の色)

数字:平成17年道路交通センサス 平日24時間交通量

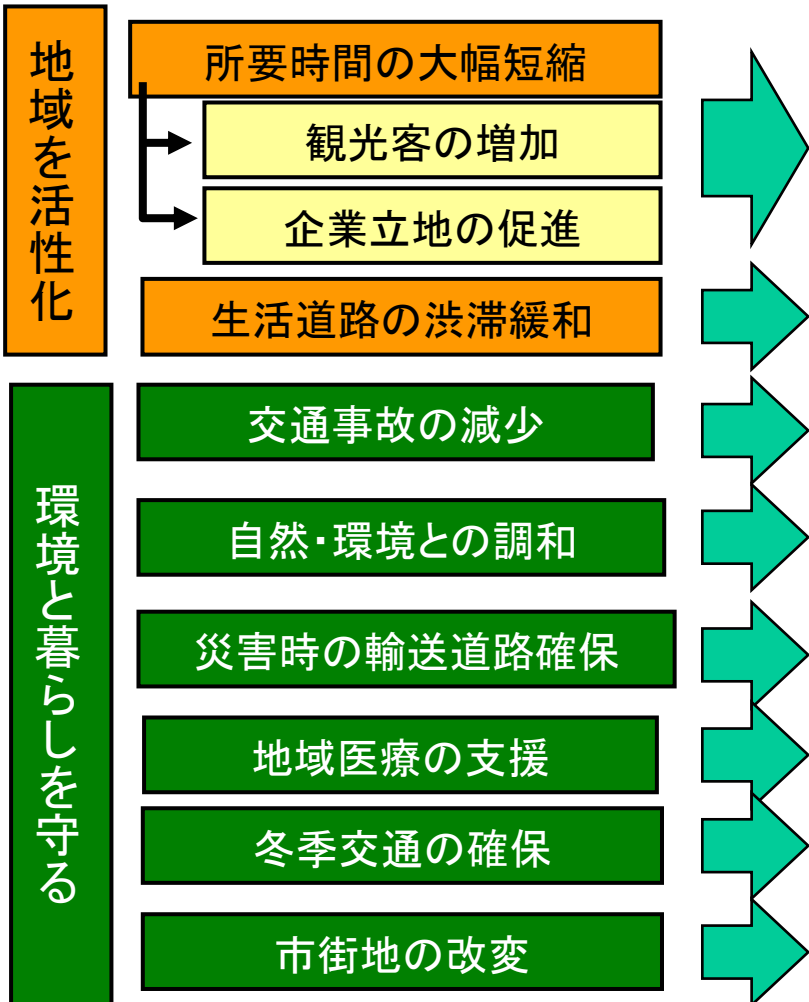
・豊岡市中心部では、国道312号、426号だけでなく、豊岡市内の**生活道路(市道)**においても混雑が見られる →豊岡市中心部に交通が集中



但馬のみちづくりの方向性と対応

・但馬地域における課題への解決策としては、下記に示す施策が考えられる

但馬地域における課題



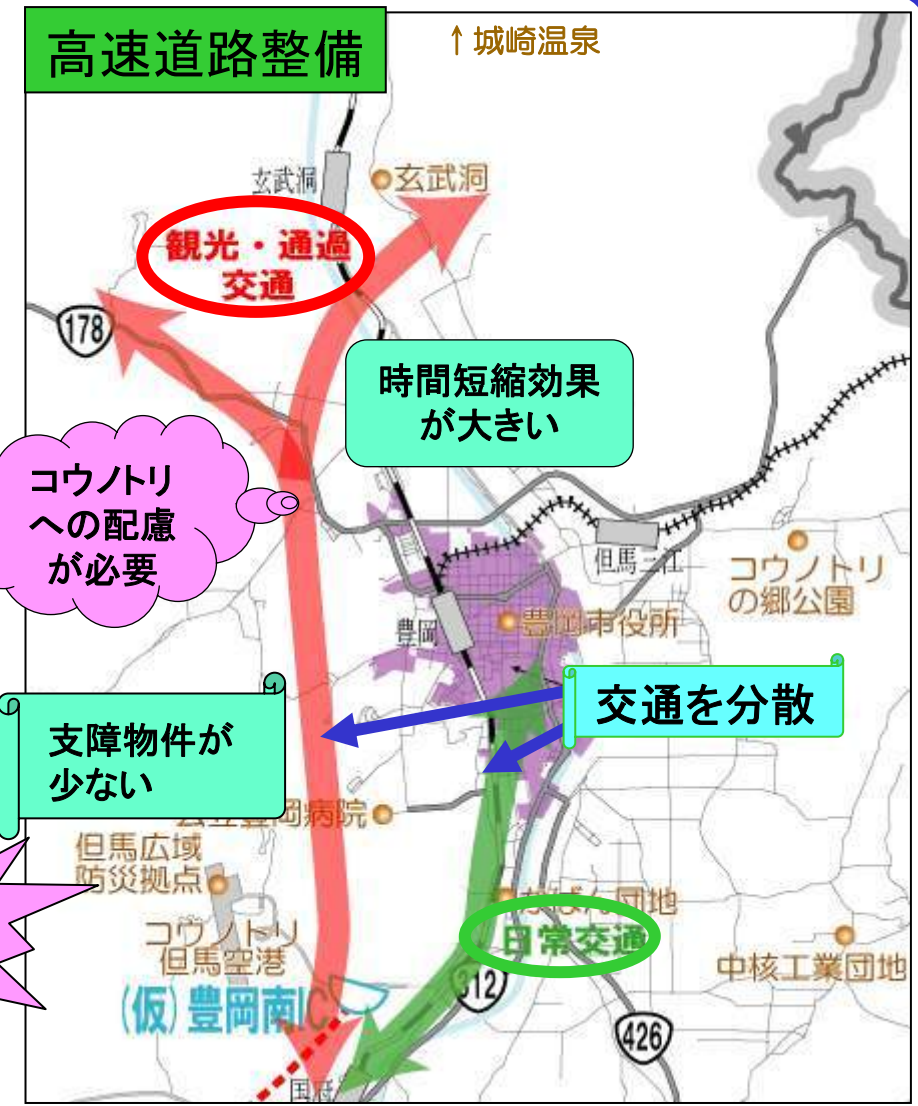
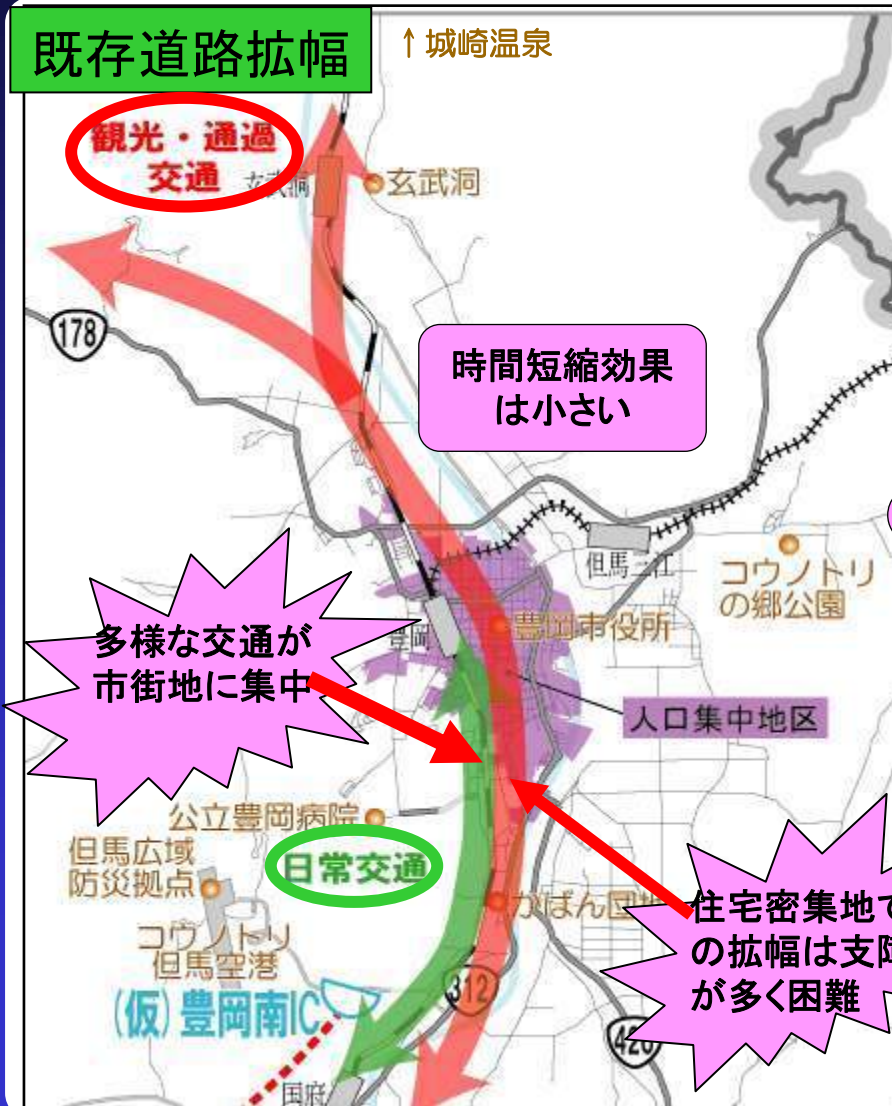
高速道路整備の効果と既存道路拡幅の課題

高速道路整備	既存道路拡幅
常時高速(時速80km)で移動可能 時間短縮効果大きい	信号の影響を受け速度が低下する 時間短縮効果が小さい
一般道から転換による渋滞緩和	拡幅により渋滞緩和
一般道から転換による事故減少	市街地での交通事故増加
自然環境に影響	人の生活環境に影響
水害時に代替輸送可能	市街地で水害による影響が懸念
豊岡病院へのアクセスを改善する道路づくりが必要	
広い路肩の確保が必要 除雪体制の強化による対応が必要	
市街地の改変がない	市街地の改変が大きい(約100件程度の住宅・店舗移転)

赤字:効果と考えられるもの 青字:課題と考えられるもの

豊岡市内における道路整備の課題及び対応策

- ・**既存道路拡幅**では、引き続き豊岡市中心部の国道312号に観光・通過・日常交通が集中
- ・**高速道路整備**では、日常交通と観光・通過交通を分散させることが可能

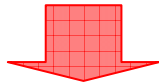


(3) コウノトリと共生する道路整備 の考え方について

コウノトリによる地域活性化と道路の役割

- ・コウノトリと地域住民の共生により、**環境と経済活性化を両立したまちづくりを進めている**
- ・道路整備も、貴重な**コウノトリの生態に配慮しつつ、地域活性化に資する計画とする必要**

- ・「コウノトリと共生できる環境が、人にとっても安全で安心できる豊かな環境」
- ・大都市からの観光客誘致により、コウノトリをシンボルとしたツーリズムをさらに促進、活性化させる
- ・豊岡の貴重な自然財産であるコウノトリを間近に見てもらうことによって、全国に自然環境保護の必要性を啓蒙・発信する



- ・コウノトリの生態や生活環境に配慮しつつ、他地域からの来訪者が訪れやすい交通整備を進める



2005.9.24 歴史館前での雛雛

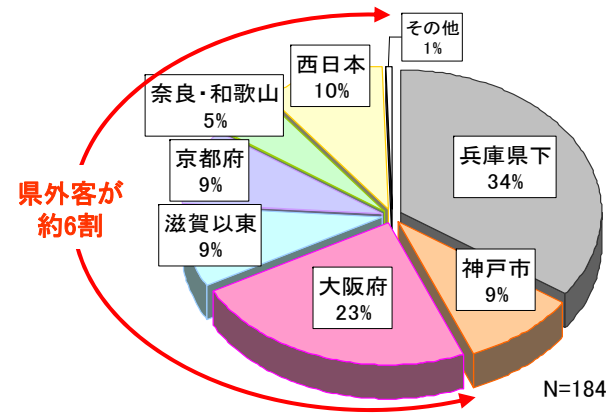


春日～氷上間供用 ↑

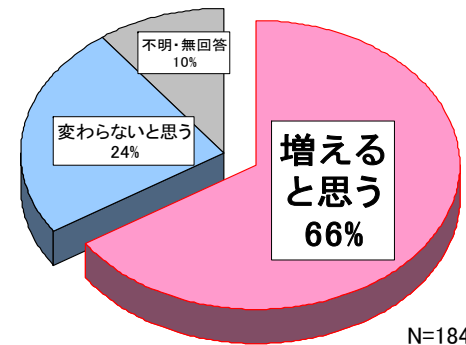
↑ 氷上～和田山間供用

コウノトリの郷公園来訪者アンケート

▼ 観光客の出発地(居住地)

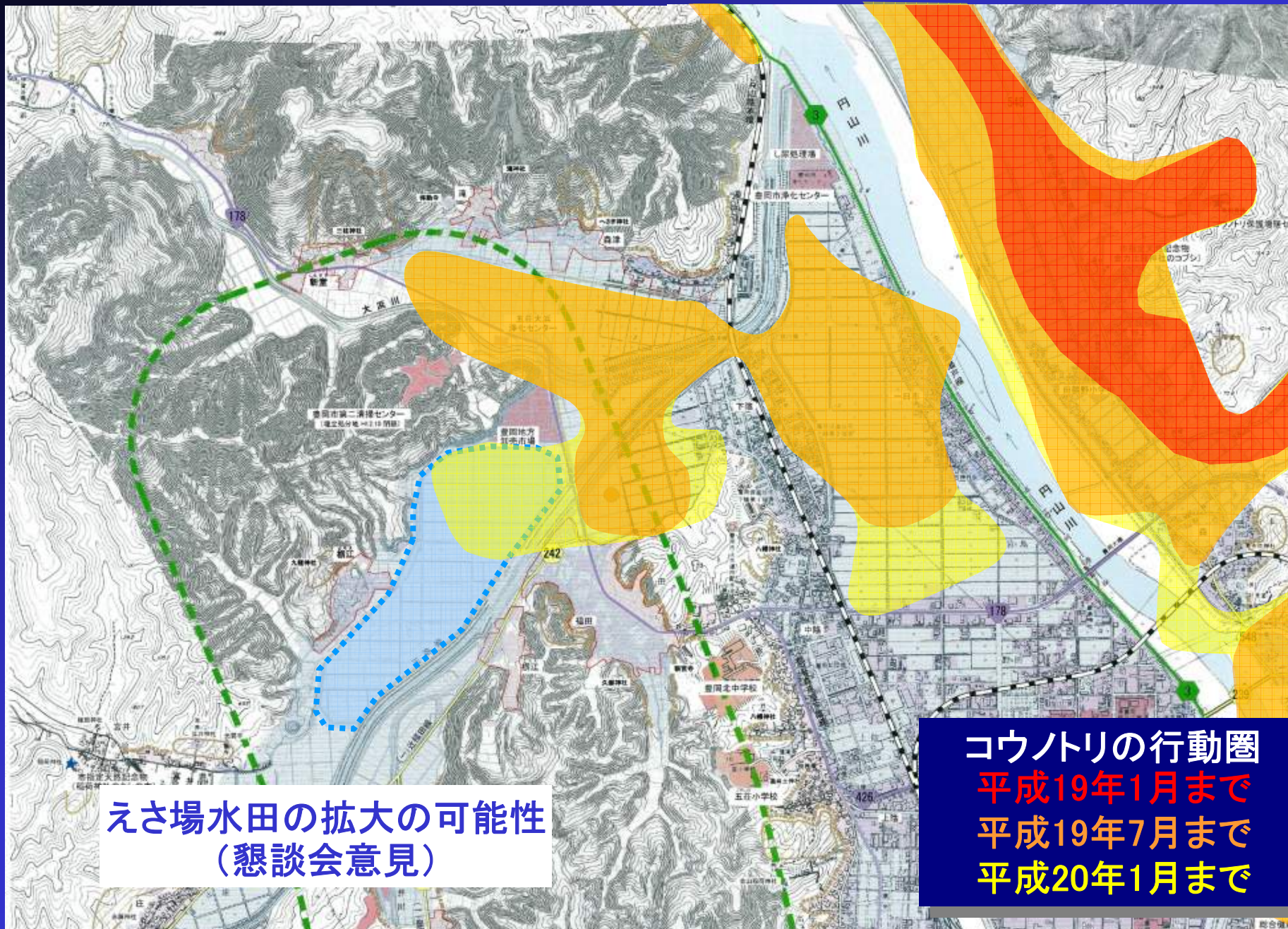


▼ 北近畿豊岡自動車道全線整備によって但馬地域への来訪が増えると思うか



出典：豊岡河川国道事務所調べ(コウノトリの郷来訪者アンケート)

コウトリの行動圏



- コウノトリのえさ場を確保
- コウノトリの飛翔を確保



福田、栃江付近